

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	昨年度より自治会に加入し、地域の大きな行事への参加などはしているが、近所の方などとの日常的な交流はまだまだ少ないのが現状である。	地域の一員として、日常的に交流していくことが地域の中で暮らしていくことに繋がることから、自治会を含め、様々な形で地域交流を進めていく。	自治会の活動に参加したり、入居者様方の友人を招いたりしながら、もっと広くグループホーム笑顔を知ってもらい、気軽に来てもらえるような働きかけを検討・実施していく。	12ヶ月
2	4	現在、運営推進会議を2ヶ月ごとに開催しているが、参加メンバーが入居者様のご家族様、市職員、包括職員だけであり、自治会や民生委員、婦人会などの参加が得られていない状況である。	地域の中で暮らし続けていくために、地域住民の代表などからの様々な意見や情報交換を行いながら、相互の関わり方や協力体制を築いていく。	来年度からの会議への参加に向けて、関係者との連絡調整を図っていく。	12ヶ月
3	19	日々の生活の様子について、面会時や毎月のお便りでの報告を行い、絆や関係性の継続を図っているが、「任せている」との考えを持っているご家族様も見受けられる現状がある。	ご家族様と一緒に過ごす時間を多く提供し、入居者様と一緒に支えていくという気持ちを持って頂く。	定期的な行事を開催し、一緒に楽しめるひと時を提供したり、連絡を密に図り、本人様をご家族様とスタッフが一緒に支えていきたいという考えを伝えていく。出来るだけ行事や面会に来て頂ける為の工夫を検討・実施していく。	12ヶ月
4	33	重度化や看取りに関する指針を作成して対応を行っているが、まだまだ検討・解決すべき課題が多い。	本人やご家族様の意向を可能な限り尊重し、医師や看護職員などと連携しながら、安心して生活を送って頂ける環境を整えていく。	事業所として対応が可能な範囲と重度化や見取りに関する指針の見直し・検討を再度行い、統一を図っていく。状態の報告や相談は引き続き、状況に合わせて密に行っていく。	6ヶ月
5	35	現在、火災を想定した避難訓練を年2回実施し、地震や水害などの災害を想定した勉強会は行っているが、地域との協力体制ができていない。	災害時に素早い対応ができるように訓練や勉強会を実施すると共に、地域の方々との協力体制を築いていく。	上山消防署からの指導の機会を設け、消防団や関係者との連携を図りながら、勉強会や実践的な訓練を実施していく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。